

希少金属資源開発推進基盤整備事業

令和6年度概算要求額 **4.8億円** (3.8億円)

事業の内容

事業目的

5G時代の到来やリモートワークの普及等の影響を受けて市場が急速に拡大しているICTやIoT機器などの先端産業、半導体、超硬工具等の高付加価値な部品生産に必要な希少金属資源について、基礎的な資源探査等を実施し、希少金属資源の開発を促進することで供給源の多様化を図り、希少金属資源の安定供給確保を行うことを目的とする。

事業概要

希少金属資源の安定供給確保を行うため、希少金属資源ポテンシャルが期待される地域における資源探査や探査技術の高度化等を実施し、有望な調査結果が得られた場合には、資源開発の権利等を我が国企業に引き継いで商業化に繋げることによって、鉱物資源の供給源の多角化を図り、安定供給確保を実現する。

事業スキーム (対象者、対象行為、補助率等)



素材の高付加価値化に不可欠な希少金属資源等



(スマートフォンの例)

- 液晶画面 (インジウム、シリコン等)
- ICチップ、コンデンサ (ガリウム、シリコン、タンタル等)
- 超硬工具 (タングステン、モリブデン、ニオブ、チタン等)

成果目標

初期的な鉱物資源探査や探査技術の高度化により、有望な鉱床の早期発見を目指す。

短期的には、令和9年度までに有望な鉱床について本邦企業へ2件の引継を目指す。

最終的には、レアメタルはベースメタル生産の副産物であることが多いため、ベースメタルの自給率を令和12年度までに80%以上に引き上げることを目指す。